

子ども服を届けて学ぶ難民問題 「届けよう、服のチカラ」 プロジェクト」の 特徴と活用事例について



株式会社ファーストリテイリング
サステナビリティ部 ビジネス・社会課題解決連動チーム

子ども服を届けて学ぶ難民問題 「届けよう、服のチカラ」プロジェクト」の 特徴と活用事例について

株式会社ファーストリテイリング
サステナビリティ部 ビジネス・社会課題解決連動チーム

「届けよう、服のチカラ」プロジェクト

URL: https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/society/youth/school/power_of_clothing/index.html

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、2013年から参加校の公募を開始し、2024年は733校・約68,000人の児童・生徒が参加。累計では5,048校、のべ54万人の児童・生徒が参加しています。

ユニクロ・ジーユー社員の出張授業から始まり、子ども服の回収・発送、寄贈レポートによる報告と、半年以上の時間をかけて難民問題について学べる本教材は、経済産業省主催 キャリア教育アワード 経済産業大臣賞(大賞)受賞、文部科学省主催 青少年の体験活動推進企業表彰 審査員会優秀賞受賞等を受賞するなど高い評価を受けています。

本教材の特徴や活用事例について、株式会社ファーストリテイリング サステナビリティ部 ビジネス・社会課題解決連動チームに、お話を伺いました。

子どもたちが主体となって行う、子ども服を通じた難民支援と学習の取組

——「届けよう、服のチカラ」プロジェクトを開始した背景を教えてください。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの背景には、2000年代に弊社のフリースが大ブームになったことがあります。多くのお客様にフリースを購入していただく中で、製品を販売するだけでなく、不要になったフリースを回収し、リサイクルすることも会社の責任ではないかと考え、着なくなった服の回収を始めました。

私たちは当初、回収した服を燃料等にリサイクルする予定でした。しかし、実際に回収してみると、状態が良好で、リユースが可能であることが分かりました。この発見と、2001年に起きた9.11米国同時多発テロ事件に続くアフガニスタン紛争、中東のイラク戦争による難民の増加という現実が重なり、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と連携し、服を必要とする人々に寄贈する活動を開始しました。また、寄贈を行う過程で、子どもたちの服が圧倒的に不足していることを知りました。

自社ブランド問わず、子ども服を回収し、難民の子どもたちにしっかりと服を届けたい。その思いから「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの取組を始めさせていただきました。

——「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの概要を教えてください。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、全国に展開しているユニクロ、ジーユーの店舗スタッフ、参加校として子ども服の回収にご協力いただく小学校、中学校、高等学校の皆様と協力して、難民キャンプの子どもたちに服を寄贈しています。

活動は、4つの工程で実施しています。

① 出張授業(6～8月開催) 「服のチカラ」について学ぶ

研修を受けたユニクロ・ジーユーの社員が学校を訪問し、講師となって出張授業を実施します。

SDGsの概要やリサイクルの意義、服にはどのようなチカラがあるのか、回収した服の活用法などを写真や映像をふんだんに利用したパワーポイントを使って授業をします。子どもたちが、自分たちにもできる社会貢献があることに気づくきっかけをつくります。

授業で使用する教材は、小学生向け(5～6年生)、中高校生向けの2種類です。

実際に講師が出向く出張授業の他、データ提供によるオンデマンド授業、ウェブ会議システムを利用したオンライン授業も実施しています。

② 呼びかけ(授業後) 着なくなった子ども服を回収するため、校内・地域へ協力の呼びかけを行う

いつ、どこで、だれに、どうやって呼びかけるか。子どもたちがアイデアを出し、子ども服を回収するために協力を呼びかけます。

役割分担を決め、ポスターや回収ボックスを作成する学校、校内放送や全校集会で、学校内に呼びかけを行う近隣の小学校・幼稚園・保育園を訪問し、手作りの紙芝居で説明する学校など、子どもたち自らが考え、工夫を凝らして、子ども服の回収への協力を募ります。子どもたちの自由な発想と、行動力が発揮されます。

③ 回収・発送(～11月) 服を回収し、倉庫へ発送する

子ども服を回収し、段ボールにつめて指定の倉庫に発送します。

回収する方法は、学校により様々です。手作りの回収ボックスを学校の玄関や廊下などに設置する、地域の小学校・幼稚園・保育園で回収させてもらう、学園祭や保護者会で回収するなどの方法があります。回収後は、段ボールで指定の倉庫へ発送します。その後、服の選別や梱包作業を行い、難民キャンプへ寄贈します。

④ 報告(1月) 服の寄贈レポートをお届け

難民キャンプに寄贈した様子をまとめたフォトレポートを各学校にお届けします。

フォトレポートを確認しながら、活動を振り返るとともに、服の回収に協力いただいた地域社会の方々への報告・お礼に活用していただければと思っています。

①～④の取組終了後、優れた取組を行った学校を表彰する「届けよう、服のチカラ」アワードも開催しています。2023年度は、優秀校9校を当社の有明本部に招待し、当日行ったプレゼンテーションの内容も含めて、最優秀賞、UNHCR特別賞を選ばせていただきました。

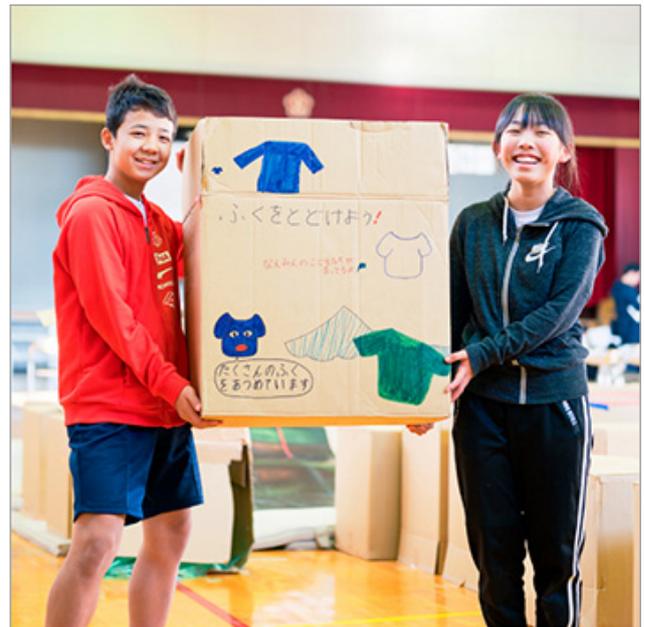
「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの特徴と工夫ポイント

POINT1 出張授業、映像授業を選択できる

出張授業はもちろんのこと、Google Earthを用いた出張授業、英語授業、映像授業(データ提供)と、各学校の環境に合わせて授業を行っています。



POINT2 SDGsが目指す『誰一人取り残さない』を体験できる授業



SDGsは、「誰一人取り残さない - leave no one behind -」をスローガンに掲げています。「届けよう、服のチカラ」プロジェクトでは、学校はもちろん、学校の外の方々にも協力いただきながら、子ども服の回収という目標の達成を目指します。この体験を通じて、協力することの大切さを学び、『誰一人取り残さない』という考えを、身をもって体験できるような授業を目指しています。

2024年度は約98万枚の子ども服を回収 授業を通じて、より身近に難民問題を感じられるように

——授業を受けた方々の感想や反響を教えてください。

子どもたちからは、「フォトレポートで自分たちが集めた服が役に立っているのがわかってよかった」、「単純に困っている人を助けるだけという認識しかなかったけれど、難民の方々の現状を知ったことで、見方が変わりました」、「難民問題は、自分たちとはかけ離れた非現実的なものという印象でしたが、身近な企業が難民支援を実施していることで、より現実問題としてとらえることができました」などのお声をいただいています。

また先生からは、「中長期的に渡るプロジェクトの中で、地域社会との交流、学校外の方との交流を通してコミュニケーションの楽しさを、子どもたちに教えることができました」、「地域の公民館、保育園や幼稚園に服の回収を依頼する際、学校の授業では体験することが難しい『大人と交渉する』場が多々ありました。きっとトライ&エラーを繰り返していたと思いますが、生徒たちは、自主的に活動することの大切さ、挑戦することの楽しさを学べたと思います」などのコメントをいただきました。

——「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」の、今後の展望を教えてください。

「届けよう、服のチカラプロジェクト」は、2013年から始まり、多くの学校に参加いただいています。2013年当時13歳だった子どもたちは、今や大学生や社会人となっていることでしょう。彼ら彼女らが当時を振り返り、「活動をやってよかった」、「活動した経験が今に生きている」と感じてくれているのであれば、大変嬉しく思います。

実際に、本プロジェクトに参加した子が大学生になり、「プロジェクトを広めるお手伝いをさせてください」と申し出てくれたこともあります。難民問題やSDGsについて考え、行動する人が増えることは、確実に社会にプラスの影響を及ぼします。そのような方々を増やすきっかけづくりの場として、「届けよう、服のチカラプロジェクト」を今後も続けていきたいです。

——消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

ユニクロ、ジーユーでは、着られなくなった服を店舗で回収するサービスを行っています。また、長く服を着ていただくために「RE.UNIQLO STUDIO」というリペアサービスが受けられる店舗も展開しています。私たちは、皆様の身近なところで、SDGsに貢献できる取組を行っていますので、皆様にもぜひ、できることからアクションを行っていただけると嬉しいです。

——ありがとうございました。

もっと知りたい方はこちら!

UNIQLO Sustainability:

<https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/>

RE.UNIQLO:

https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/planet/clothes_recycling/re-uniqlo/

子どもたちのためにできること(次世代教育活動):

<https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/society/youth/school/>

あらゆる人が平等に生きられる世界へ:

<https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/people/diversity/gender/>

ユニクロとSDGs:

<https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/sdgs/>